

# 1. 評価結果概要表

平成 20年 1月 30日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2092400023		
法人名	株式会社 ふれあいの里		
事業所名	ケアセンターふれあいの里		
所在地	長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14432 - 1 (電話) 0265 - 71 - 1121		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成21年1月30日	評価確定日	平成21年2月17日

【情報提供票より】( 21年 1月 1日 事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 9月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤7人	非常勤3人 常勤換算6.8人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	21,500 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,670 円

### (4) 利用者の概要 ( 1月 1日 現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名	
要介護1	3名	要介護2	3名			
要介護3	2名	要介護4	1名			
要介護5	要支援2					
年齢	平均	80.3 歳	最低	72 歳	最高	88 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	福島病院 伊那中央病院 千葉歯科
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

施設は、箕輪町を南北に貫く中央高速自動車道西方にある、木曾駒ヶ岳の麓に向けて広がるりんご園の中に、周辺住民のためのケアセンターの役割を担うため、グループホーム・デイサービス・ショートステイが併設された複合施設である。中でもグループホームは、周辺の地域では、数少ない認知症介護の施設として立ち上げられ、管理者と職員全員で、昨年新しく施設の理念を改正し「地域の方と老いをともにし、利用者に寄り添い必要ときに必要な手助けをしよう」と職員が主体となり意見交換をしながら、利用者・家族と、楽しく過ごしやすい環境作りに向け努力されている。将来に期待できる施設である。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回までの外部評価による改善課題については、管理者・職員全員で改善に向けた取り組みがされているが、継続してさらに向上に向けた取り組みが望まれる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者自らが職員の意見を集約し、自己評価表作成に当たられているが、自己評価への取り組みの趣旨を理解の上、職員全員と各評価項目について検討し、意見交換することにより、職員個々が改善点に気付き、向上への努力を継続されることが望まれる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	利用者家族・地域の代表者・行政機関の代表参加により、継続して会議が開催され、出された意見についても職員全員により検討され、質の向上に向けた取り組みがされている。外部評価の結果等も会議で議題として報告され検討もされている。行政の担当者との連携も積極的にされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	月々グループホーム通信に利用者ごとの担当者が、日々の生活状況や健康状態のコメントを載せ、家族への安心・理解を得るよう努めると共に、施設への意見・要望を連絡してもらい、家族会では言いにくい苦情等の汲み上げに努め、職員全員で出された意見等について検討し施設の運営への反映につとめられている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	運営推進会議に参加されている地域の代表を通じ、付近の住民との交流も徐々に広がりつつあるが、隣接した住宅が少ない等の地域環境もあり、施設では地区の住民との交流の場作りのため住民と共に利用できる集会所を新設中である。完成すれば介護教室としての利用や住民との共有の場として活用し、より一層の連携強化に努めたいとの意気込みがきかれた。

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の方と老いをともにし、利用者に寄り添い必要なときに、必要な介助を、との理念を新しく、職員全員で立ち上げ、温かく楽しく過ごせる環境作りに取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新しい理念をスタッフルームの見やすい場所に掲示すると共に、月々の全体会議に職員全員で復唱し合い、共有を図っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議の委員さんを通じ、地域の住民の紹介等を受けている。また、地区の運動会や音楽会等にも参加するなど徐々に交流の輪を広げ、地域の方を対象とした認知症サポーター養成講座を行い相互交流がされている。しかし、付近に住宅が少ない環境にあり、住民との交流拡大には苦慮されている。		施設奥に地域住民との交流の場として共用集会所が新設中であり、完成後は、この場所を利用しての各種交流行事が考えられるとのことであり、地域環境条件を克服され住民との交流拡大への工夫をされることが望まれる。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義、自己評価の意義について職員全員に説明され理解はされているが、今回の自己評価作成に当たっては、職員全員で検討する暇がなく、管理者が職員の意見を聞き作成がされている。		自己評価の各項目を職員全員で検討することにより、改善点の発見に繋がり日々の勤務に活かされ、改善、質の向上に繋がることが理解される。自己評価実施に当たられると共に外部評価の結果と合わせ全員で検討され、介護の質の向上に向けた取り組みがされるよう望まれる。

ケアセンターふれあいの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月に一回の予定で運営推進会議を開催し、施設への協力依頼や外部評価の取り組み等について報告され、提起された意見についても職員全員で共有し、サービスの質の向上に活かすよう努力されている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政の担当者には、施設の現状を理解してもらう状況報告と共に、各種情報を得るよう定期的に連携が図られている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の請求書と共に、グループホーム便りの通信欄に利用者の担当職員による、各利用者の日々の生活状況等について、コメントを載せ報告する努力されており、家族会開催への努力もされている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会・運営推進会議での意見・苦情の汲み上げのほか、家族の施設への面会訪問時等の機会を通じ、表出の機会を設け、それらを職員全員で検討し、施設の運営に反映させる努力がされている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係保持に対する重要性を職員みなで理解を深めると共に、職員の異動等を必要最小限に押さえる等、利用者へのダメージを防ぐ配慮がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設で、学習係りを定め毎月施設内研修会を実施する他、施設外の研修にも積極的に受けられるよう交通費支給の配慮がされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	上伊那圏域のグループホーム相互評価事業に参加し、ネットワーク作りをおこなっている。また地域内の事業所職員による合同レクリエーション大会にも参加し、意見交換する等サービスの質の向上につなげる取り組みもされている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所申し込みの時点から不安や要望をよく聞き、施設の環境見学や提供するサービスについての説明を十分にすると、利用者・家族が納得の上で利用決定がされるよう工夫されている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩として尊敬し、介護する側、される側との意識を排除し、共に学び支え合う関係樹立に職員全員が取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の生活の中で、利用者一人ひとりの思いや暮らしへの希望・意向を聞き取り把握してサービスに反映して行くよう努力されている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人・家族の、暮らしやケアへの意向・要望をよく把握し、関係職員とのカンファレンスで検討した上、介護計画を作成し、本人・家族に説明され確認もされている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>施設では見直し期間を三ヶ月と定め、関係職員によりカンファレンス実施と評価見直しがされている。また利用者の急な変化に伴う見直しについても随時対応され、現状に即した計画作成に努められている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>多機能性への事業拡張は、行政担当者に要望提出はされているが、未だ許可にならず、今後の取り組みに期待される。</p>		

ケアセンターふれあいの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者・家族の要望による本人のかかりつけ医の受診への対応に努められており、送迎の支援もされている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化・終末期への対応については、契約時や機会あるごとに、関係者で検討し合うよう方針にて説明されており、施設としても家族の要望に沿うよう方向付けがされ、すでに対応事例もある。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者一人ひとりの誇りや、プライバシー保護に配慮した日々の対応のありかたについては職員全員で注意し合い、日々の支援に取り組まれている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は施設の時間的行事を利用者に強制することなく、一人ひとりの生活ペースを優先したケアに努められている。</p>		

ケアセンターふれあいの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事への好みや、希望による献立への対応と、食事準備から味付けや後かたづけまで利用者と職員で一緒になって作業し、食事も全員ともに同席し、楽しく会話を弾ませながらの食事風景が保たれている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴準備をし、体調に応じ利用者の希望の時間帯にゆっくりと楽しみながら入浴が出来るよう支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者個々にあわせ、自分に出来る手仕事や庭の畑での野菜作りのほか、併設施設での自分にあったプログラムに参加する等気晴らしへの支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	四季おりおりの花見・紅葉狩り等の利用者全体の外出のほか、買い物にでたり、施設周辺にある林檎園・梅園までの日々の散歩など外出支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	拘束をしない介護の原則を職員全員で確認し合い、日中玄関・ベランダへの出入り口には鍵をかけないケアに取り組まれている。		

ケアセンターふれあいの里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害対策についてはマニュアル・個々の役割等について職員に徹底され、消防との連携も取れ、避難訓練も数回されている。また、職員間の呼び出し・伝達訓練等もされているが、地域の住民参加による全体的な避難訓練の実施までには至っていない。</p>		<p>災害時の避難・誘導は、繰り返し訓練実施されることにより、その実効が上がるものである。また、救助に駆けつけてもらう周辺住民との連携も大切で、施設の避難場所等の確認をしてもらうことも必要である。早急に協力が得られるよう要請し、繰り返しての訓練を重ねられることが望まれる。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士の献立指導を受け、利用者の状態にあった栄養バランス・食事量への配慮がされ、水分量の摂取のチェックにも配慮されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用部分には、利用者の作成した室内飾りや季節感を刺激できるように、時期にあった花や鉢植え等の配置が考えられている。生活感や季節感の取り入れに配慮され、居心地良く過ごせるよう工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の居室には、使い慣れた家具や各人の生活に合った写真や室内飾り・思い出の品を自由に持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。